

グローバルなコミュニティ活動について

コミュニティ活動への参加

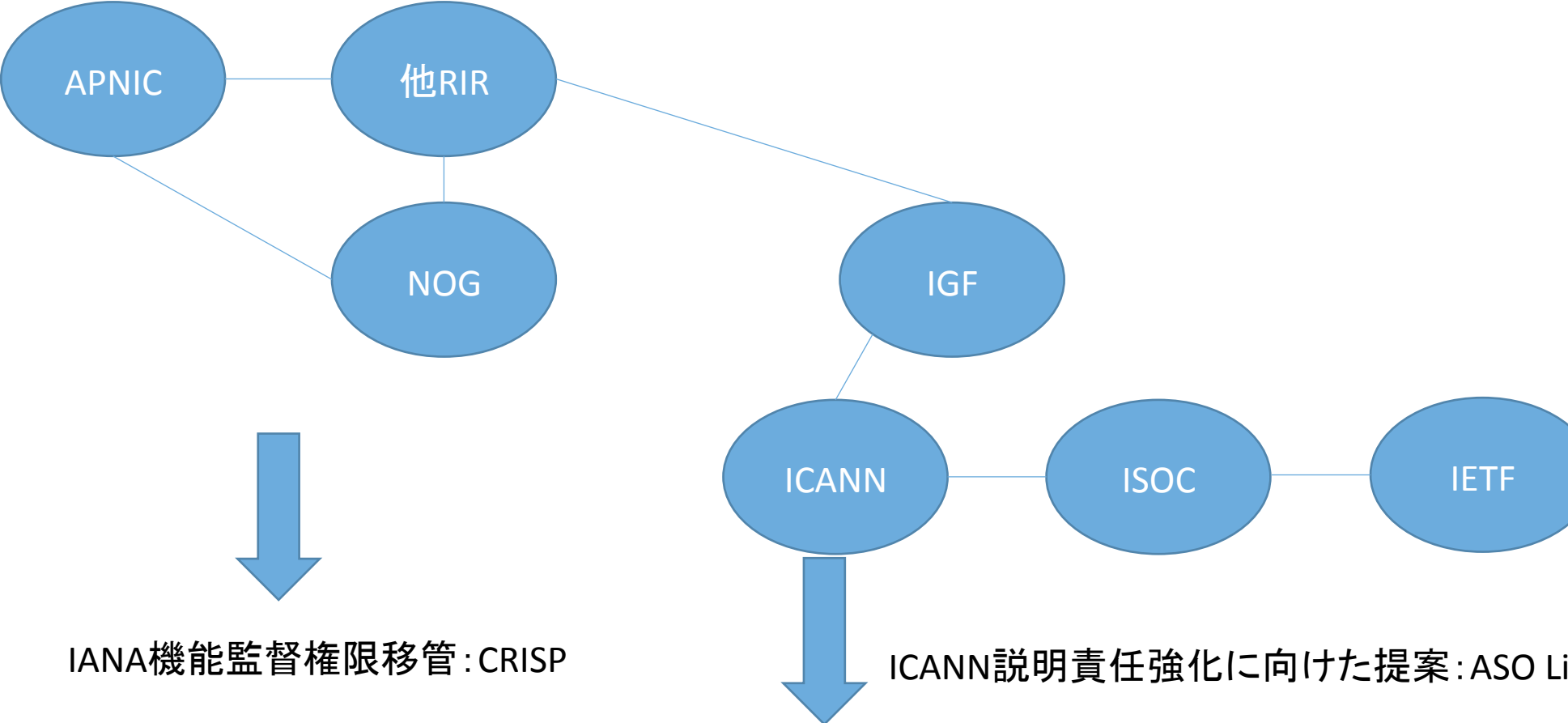
- APNIC・RIRコミュニティ : 2000年～
- NOGなど(一部) : 2003年頃～

- ICANNコミュニティ(GNSO) : 2012年～

- ISOC : 2013年～
- IGF : 2013年～

- 期間限定の活動: 2013年11月～
 - IANA機能の監督権限移管
 - ICANN説明責任強化に向けた検討

活動のきっかけ

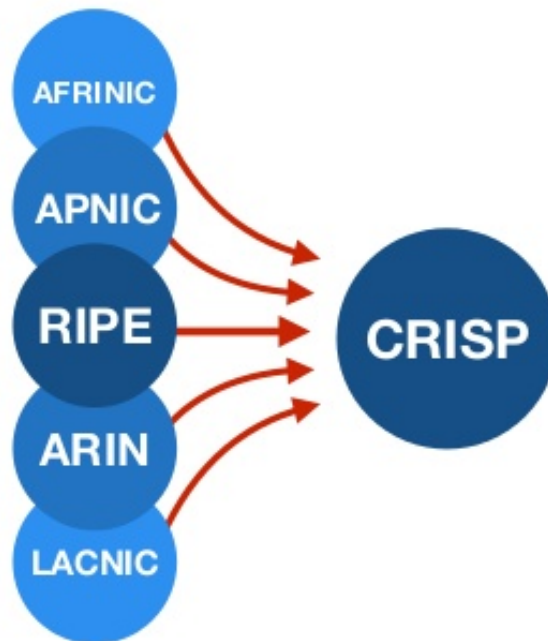


各分野の印象・チャレンジポイント

- IGF
 - 基本的な知識レベル、課題の背景の知識不足
 - ITU関連のイベントに参加していないため、多くの参加者の共有している背景を共有できていない
 - 洗練された発言
 - 戦略・他の参加者との連携
- CCWG
 - 法的知識の不足
 - 多勢に反して、空気を変える発言力・影響力
- CRISP
 - 他コミュニティとの連携

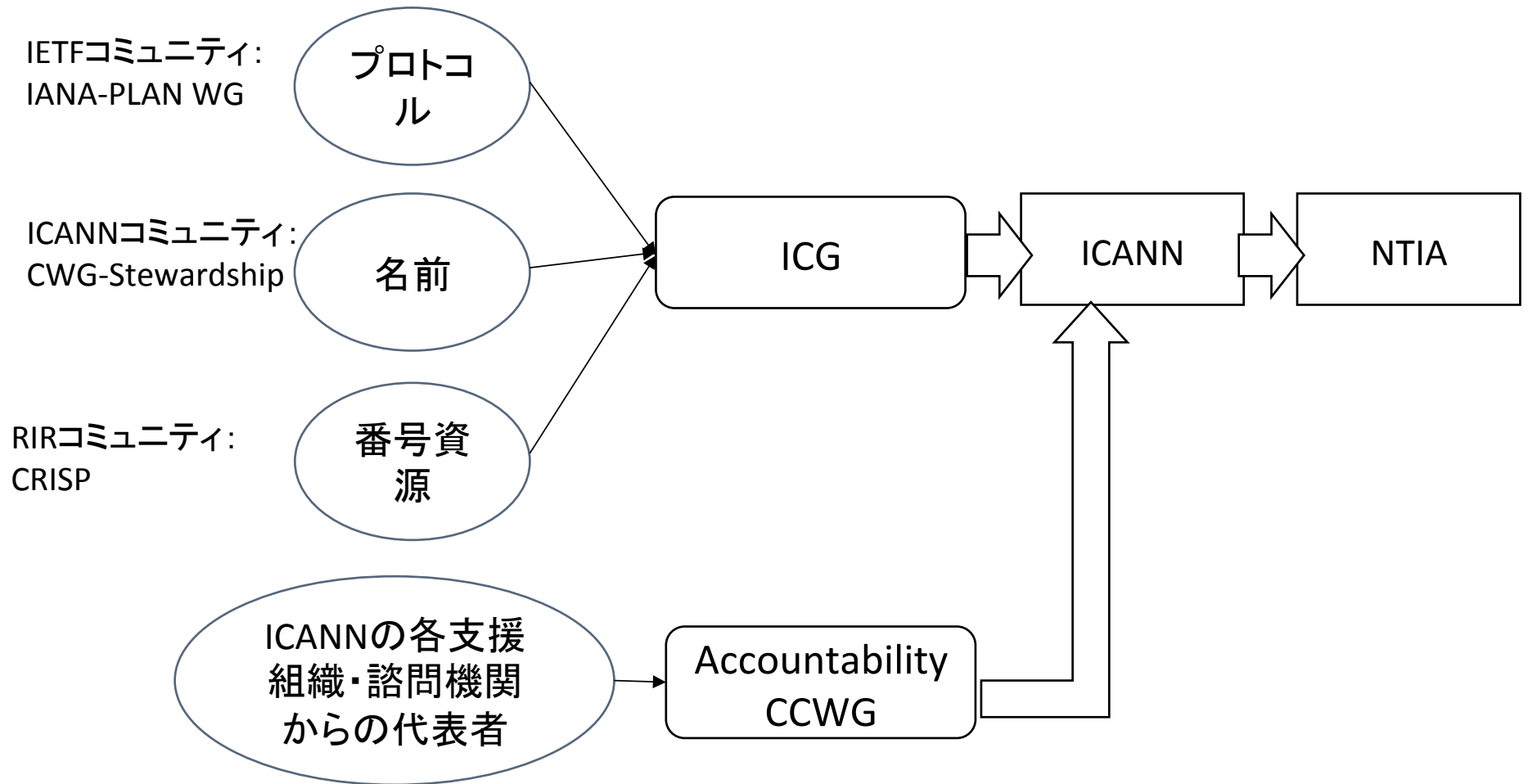
CRISP

IANA Stewardship Process: CRISP



- Consolidated RIR IANA Stewardship Proposal (CRISP) Team
- Consolidate five RIR community outputs into a single proposal
- 15 members selected
- Works transparently via a public mailing list:
 - <https://www.nro.net/mailman/listinfo/ianaxfer>

IANA監督権限移管と 他コミュニティとのつながり



連携の連鎖: CRISP

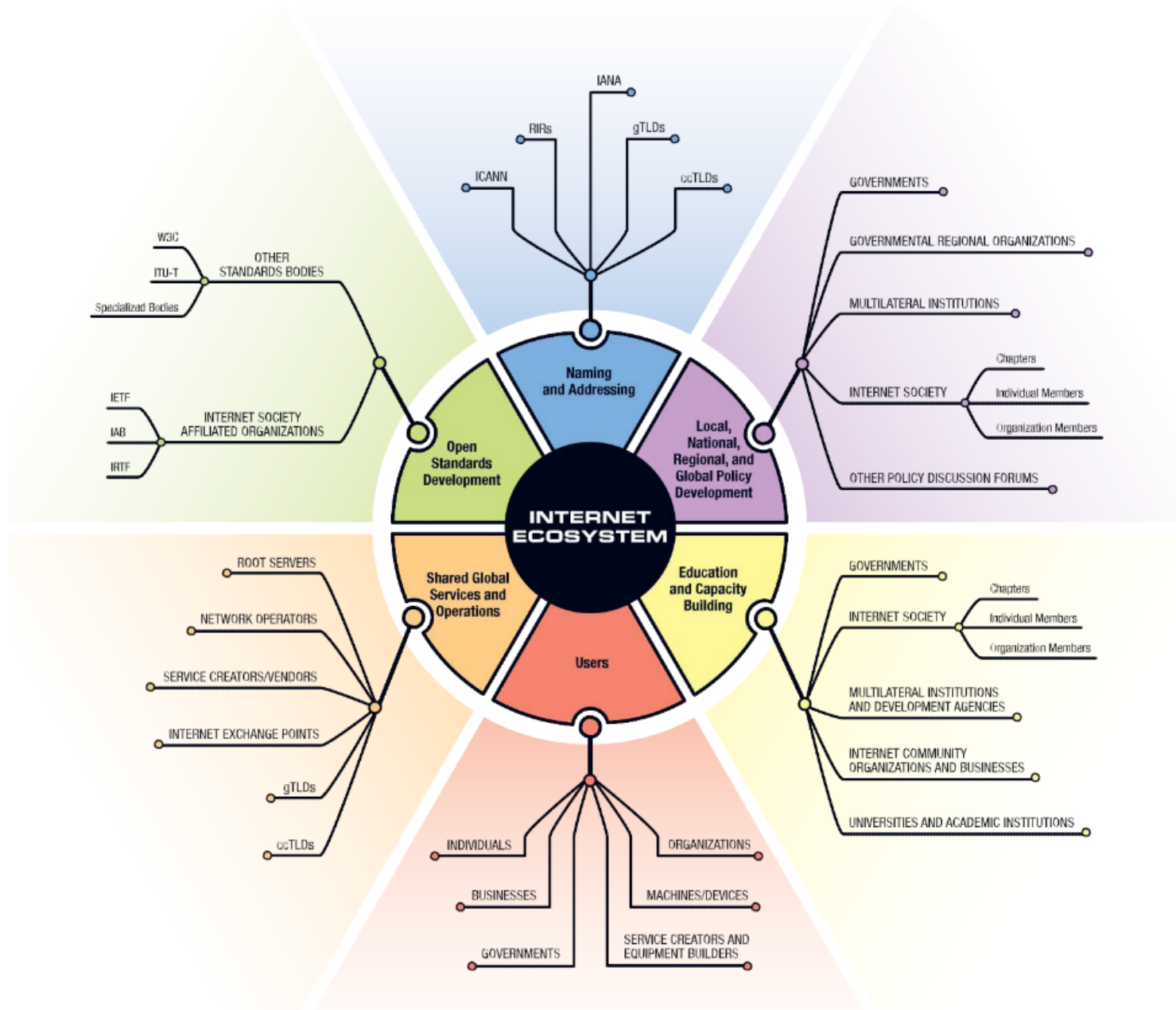
- CRISPチーム間
- 同じ地域の仲間(APNIC)
- Chair同士(Nurani Nimpuno)
- NRO EC
- 広い番号資源コミュニティ
- APNIC地域のコミュニティ
- IETF
- 3つの運用コミュニティ
- ICG
- CCWG、ICG、三つの運用コミュニティ、ICANN
- RIRのコミュニケーションチーム
- CCWG、ICGの動向確認(適宜)

連携の連鎖: CCWG

- RIRスタッフ
- 同じ地域の仲間(APNIC)
- NRO EC
- CCWG
- CCWGチェア
- CCWGコアメンバー
- CRISP(必要に応じて)

最近の対応例: CCWG

- CCWGの議論注視: テレカンは週12件(1回2時間)、10月13日時点での10月のML投稿数: 735件
- 特定の状況に対してASO Liaisonsとしての見解確認
- APNICと個別にテレカン
- 上記に基づきCCWGへの投稿
- NRO ECへの状況報告・戦略確認
- NRO ECとのテレカン(場合によってはECとのテレカン前の資料作成、ASO Liaisonsとの調整)
- ASO Liaisonとの今後の対応テレカン
- ASOとして見解発表前のCCWGコアメンバーへの意見照会・調整



活動を通して

- 相互連携あり
- 米国はコアな部分はすべて押さえている

- 情報量が全然違う
- 情報交換・連携が確立されている
- 戦略的に進めている
- 発表されていることはあらゆるものが考慮され、調整済の情報
- 基本的な知識レベル・器の差

- 結局は信頼関係
- 突き詰めた検討・専門性は尊重される
- 自分が発言が苦手でも、誰かにフォローしてもらう
- 覚悟や姿勢はある程度伝わる